

< 第 1 1 節終了時点順位表 >

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	駒澤大学	7	2	2	26	8	+18	23
2	筑波大学	7	2	2	28	11	+17	23
3	法政大学	6	0	5	21	10	+11	23
4	順天堂大学	4	4	3	17	16	+1	15
5	東京学芸大学	5	6	0	16	17	-1	15
6	国士館大学	4	4	3	14	17	-3	15
7	中央大学	4	5	2	19	20	-1	14
8	流通経済大学	3	4	4	10	19	-9	13
9	東京農業大学	3	4	4	10	20	-10	13
10	明治大学	3	6	2	12	16	-4	11
11	亜細亜大学	2	6	3	9	16	-7	9
12	日本大学	2	7	2	11	23	-12	8

国士館大学はリーグ戦後に勝ち点 - 7 とする

得点ランキング

9ゴール	平山 相太(筑波大)
7ゴール	宮崎大志郎(駒大)
6ゴール	赤嶺 真吾(駒大)
5ゴール	原 一樹(駒大)
4ゴール	藤本 淳吾(筑波大)

他7名

アシストランキング

9アシスト	藤本 淳吾(筑波大)
5アシスト	高野 耕平(東学大)
4アシスト	石川 高大(東農大)
3アシスト	赤嶺 真吾(駒大)
	小宮山尊信(順大)
	中村 英之(順大)

他4名



【右上】鈴木亮のダメ押し点を祝福する筑城(左)。前期全試合フル出場の彼も首位ターンの大きな原動力となった  
 【右】ロスタイムを含めた数分間ながらも、念願のリーグデビューを果たした柳崎  
 【上】途中出場の最上も、要所を締めたプレーを披露した  
 【下】経験を貰われ、この日はボランチに入った桑原。「前半はそこそこできたが、後半は相手に中盤を支配されてしまった」と反省の弁を口にしたり



MOM MF 宮崎大志郎

まさに彼の独壇場だった。9分に得意のFKを直接決めると、24分には巻の折り返しを詰め、77分には赤嶺の折り返しからハットトリックを達成。他にも68分には、中盤からドリブルで仕掛けあわやのシュートを放つなど、この日の彼は全く手が付けられないほどキレキレだった。



近づいたJへの道

～赤嶺、FC東京の特別指定選手に～

今季開幕前のキャンプにも参加し、雰囲気は掴めているはず。スピード、強さ、多くのものを学んできてほしいものだ

6月7日、日本サッカー協会より、FW赤嶺真吾(4年)がJリーグ・JFA特別指定選手に承認された。これはサッカー選手として最も成長する年代に、種別や連盟の垣根を越え、「個人の能力に応じた環境」を提供することを目的とするもので、赤嶺は駒大サッカー部所属のまま、Jリーグ公式戦出場が可能となった。なお受け入れ先はJ1・FC東京となっている。自ら掴んだチャンス。昨季ナビスコ杯王者の中で採まれ、その経験を還元することで、総理大臣杯に向けて自身もチームもさらにひと回り成長することを期待したい。



VOICES

秋田浩一監督

「球際だとか戦う姿勢は足りなかったが、巻、赤嶺の頭を生かしたし、ボールを速く回してサイドから攻める形も出ていた。前期はもっと苦戦すると思っていたが、原が代表で抜けたりしてもみんなやろうとしていたし、戦えるようになったのは良かった。ベストゲームを挙げれば筑波戦。結果は残念だったが、気持ちの入ったいいゲームが出来ていたと思う」

巻 佑樹

「勝ったのは良かったが、点を取ったのが中盤の選手だったので、FWとしては点を取りたかった。前期は最後の方でだんだん気持ちが出てくるようになってきたと思う。あまり試合に出られなかったのが、コンスタントに出られるように頑張りたい」

牧野利昭

「3点差で勝つという目標をクリアできて良かった。前期を振り返ると、内容がよくない割に勝ち点は取れたが、まだ足りない部分がある。ただ最初は意識が低かったけれど、試合をこなすことに気持ちが出てきて、チームとしてやるべきことを再認識できたので良くなってきている。大臣杯も死に物狂いで頑張りたい」

鈴木亮平

「ゴールシーンは、(ハットトリックした)大志郎に負けないうように、自分で行った。左足で蹴るよりも、右足で正確に蹴ろうとしたら入ってくれた。前期を振り返って、チーム全体が戦うようになったと思う。やはり去年までとは意気込みが違うし、負けたくない。最後はどれだけ気持ちが強いかが勝負が決まると思うので、一つ一つ大事に戦ってきたい」

6月3日	18:30	江戸川区陸上競技場
駒大4( 2 - 0 )1国士大 (1位・23) (6位・15)		
得点者(アシスト)		
【駒】9分:宮崎大志郎 5		
【駒】24分:宮崎大志郎 6(巻 佑樹 2)		
【国】67分:菅原康太 2(半田武嗣 2)		
【駒】77分:宮崎大志郎 7		
【駒】80分:鈴木亮平 3		
KOMAZAWA	KOKUSHIKAN	
GK 牧野利昭(4)	GK 鈴木智幸(2)	
DF <sub>30</sub> 小椋慶一(4)	DF <sub>33</sub> 久木原洋(3)	
(73分 最上大輝(4))	DF 山崎祐輔(3)	
DF <sub>28</sub> 阿部琢久哉(3)	DF 杉森陽介(3)	
DF 廣井友信(3)	DF 片山奨典(4)	
DF 筑城和人(3)	MF 竹内 彬(4)	
MF 桑原 靖(4)	MF 養父雄仁(3)	
MF 塚本泰史(2)	MF 土屋貴啓(4)	(45分 23 半田武嗣(2))
MF 宮崎大志郎(4)	MF <sub>24</sub> 菅原康太(2)	
MF 鈴木亮平(4)	MF 蒲原達也(4)	(77分 加藤浩史(4))
(89分 23 柳崎祥兵(3))	FW <sub>36</sub> 小林浩次(4)	
FW 巻 佑樹(3)	(45分 金子央朋(3))	
FW 赤嶺真吾(4)		
S U B	S U B	
GK <sub>22</sub> 山内達夫(2)	GK <sub>22</sub> 山下高明(3)	
DF <sub>31</sub> 安藤 謙(1)	DF 小林公平(3)	
FW <sub>27</sub> 高崎寛之(2)	DF 佐藤直貴(3)	
FW 原 一樹(3)	MF <sub>37</sub> 宮内 亨(1)	
M A N A G E R	M A N A G E R	
秋田浩一	佐藤 孝	
警告(C) / 退場(S)		
【駒】36分:巻 佑樹(C)、47分:鈴木亮平(C)、72分:桑原 靖(C)		
【国】23分:菅原康太(C)、49分:半田武嗣(C)、54分:竹内 彬(C)、82分:加藤浩史(C)、89分:金子央朋(C)		
[シュート]14:9[CK]10:13[CK]5:5[PK]0:0[直接FK]24:22[間接FK]13:1[OS]11:1[主審]飯田淳平[観衆]約400人		

上記データは全て左側の数字が駒澤